



図書便り (2月号)

令和5年(2023年)2月24日発行

文責 原田

～もうすぐ卒業式です～

3月1日に卒業式が行われます。今年度卒業する生徒の皆さん、おめでとうございます。皆さんのこれからの人生が幸多からんことを祈念いたします。

肌寒い日が続きますが皆さんは今の季節は冬だと思いますか？それとも春？まだまだ寒い2月ですが、文学の中では春として扱われます。寒さの中に暖かさを感じられるようになったころ、それはもう春なのです。

～新着の本～

今月も定時制図書室からお勧めの本を紹介します。

『つなみ 被災地のこども80人の作文集』

文藝春秋(編)



東日本大震災発生から11年がたとうとしています。地震被害以上に大変だったのがつなみ。本書では子どもたちが書いた作文がたくさん掲載されています。津波の被害に遭った人たちの気持ち。胸にくるものがあります。

『にゃんこ四字熟語辞典』

西川清史(著)



お勧めの本があるんですよと紹介された本です。1ページに1つの四字熟語といい表情のにゃんこ。これがいい写真なのです。まさしく言い得て妙！この本は四字熟語を学ぶというより、猫をめぐる本でしょう。

『自分いじめの呪いを解く本 毎日がラクになる心のクセづけ40』

ココロジー(著) 酒井和夫(監)



自分と他人とを比べて、自分のことが分からなくなったり不安になったりしたことはありませんか。多くの相談に応じたことがある著者が、その悩みにアドバイスをしています。

『学校では教えてくれない大切なこと(12) ネットのルール』

旺文社(編)



インターネットには危険が潜んでいる。そのことは皆さん知っていると思いますが、この本では具体的な事例を紹介しつつ、問題への対処方法や問題を起こさないようにするための方法がわかりやすく書かれています。